

旧長陽西部小学校校舎（震災伝承館轍）

旧長陽西部小学校校舎

【現状】

- 令和4年4月1日より、震災伝承館轍としてオープン。（一社）みなみあそ観光局が管理を委託しており、震災ミュージアムKIOKU（県施設）と連動した視察受け入れなどを行っている。
- 震災伝承館轍は、県の指定している回廊型フィールドミュージアムの地域拠点と位置づけられている。
- 黒川地区の有志で結成された「すがるの里」がお弁当作りの拠点として活用しており、視察時にお弁当の提供を行っている。



【今後の方向性・取り組み】

- 令和6年6月に実施したアスベスト調査により、煙突や床・天井の接着剤にアスベストが含有していることが判明したため、**解体**の方向性で各関係機関と協議を行いながら検討を進めていく。
- 旧長陽西部小学校の解体に伴う回廊型フィールドミュージアムの地域拠点としての機能は、熊本県と協議しながら検討を進めていく。



施設名称	延床面積 敷地面積	建築年度 (主要施設)	経過年数	備考
旧長陽西部小学校 校舎	2,468㎡ 12,692㎡	1973	47年	

その他 久石体育館 原尻団地



久石体育館



原尻団地



【現状・方向性】

- 令和5年度までは久石体育館は教育委員会所管、原尻団地は定住促進課所管である。
- 令和5年度行政改革推進委員会（R6.3.22開催）での各施設の方向性は以下のとおり。
 - 【久石体育館】
令和5年度末をもって貸し付けを終了し、令和6年度からは南阿蘇村農業みらい公社が利用（施設の管理を農政課に移管）。
 - 【原尻団地】
令和5年度末をもって廃止。解体を含め利活用策の検討を進める。

【令和6年度の進捗・取組】

- 令和6年度から久石体育館は南阿蘇村農業みらい公社が倉庫として利用予定であり、同じ敷地にある原尻団地も事務所（支所）として利用したいため定住促進課と協議を行う。
- 令和6年6月議会に、財産（久石体育館）の無償貸付についてを上程。
- 令和6年9月議会に、財産（村営住宅「原尻団地」）の無償貸付についてを上程。

南阿蘇村白水武道場



【概要】

住所：南阿蘇村大字吉田

建築・改修年度 昭和64年（平成元年） 道場301㎡ 合宿所222㎡

主な利用団体：剣道、居合道、弓道

※主に白水道場（剣友会）の道場として利用されていた。

【方針変更】

行財政改革 修繕対応 → 対応協議（解体に向けた跡地利用計画の協議）

【変更理由】

- ①著しい老朽化及び利用団体活動拠点の移転による利用者の減少。
- ②跡地利用計画を含め解体に向けた協議を進めるため。

【利用状況】

年度	R3	R4	R5
利用状況	剣友会	剣友会	剣友会・居合道・弓道
経費	489千円	513千円	344千円

※R6は利用なし
※光熱水費

【跡地利用について】

教育的施設の枠を超えた協議を進める。

白水武道場：航空写真

